

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 3月10日

事業所名 フレンズ常総大沢

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2		部屋が二か所に分かれているため、活動内容に合わせて、部屋を使い分けている。活動によっては公共施設なども利用している。	思いきり身体を動かすには十分なスペースが取れないので、引き続き公園等外で動く機会を増やせたらと思う。
	②	職員の配置数は適切である		3	1	死角になる場所が多い為、死角にならないようにスタッフが立ち位置を確認しながら動いている。他店舗にヘルプを要請したり、スタッフの募集をかけている。	手厚い支援をするためにスタッフの調整が必要だと思う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	3	支援スペースに階段があり、利用者様が分かりやすいよう色テープなどを使用し視認性をあげている。両サイドに手すりがあるが、車椅子の移動が必要の際には、折り畳み用のスロープで対応している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2		社内で常に話し合う意識を保ってPDCAを行っているが、スタッフ不足により、全員で話し合いをするのが難しい場合には、個別に上司などに伝えている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケート調査の結果をうけ、スタッフ間で話し合い、保護者様の意向等を共有し、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページに掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		社の方針に従う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	1	2	会社全体でオンラインによる研修を定期的に行っている。個人でも希望する研修会には可能な限り参加できるようにしている。	引き続き、個人でも地域での参加可能な研修に参加できるよう努め事業所内で内容を共有できたら良いと思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		利用者様、保護者様のニーズを大切に、希望に添えるよう、学校、家庭、施設などでの様子をスタッフで話し合い、それをもとに児発管が放課後等デイサービス計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		2	2		より良いツールがあれば、活用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			毎月、支援に携わるスタッフ全員で案を出し、話し合っ て決めている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			固定化されないよう に出されたアイデア を楽しく実行できる ようスタッフ同士協力 をしている。 また、保護者様の要 望や利用者様の苦 手としていることな どもチャレンジ出来 るような活動も取り 入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		時間の配分が違 うため、支援計画 をもとに課題を決 め支援している。終 日利用の際には、 外出や調理などの 活動を取り入れて いる。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			個人で取り組む学 習や、全員で行 う活動など、利用 者様の状況をスタ ッフ皆で話し合い 計画を作成してい る。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	2	2		短い時間ではあ るが、支援開始前 にスタッフ間で、支 援の内容で気になる ことについて話し 合っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		利用者様の様子 や気付いたことを スタッフ間で話し合 い、共有している。 また、休みのスタ ッフには後日伝え ている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			全スタッフが記録 に携われるよう にし、確認作業も 行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3		1	定期的に児発管、相談員、保護者様との 支援会議を行っている。利用者様に気にな ることがあった場合には、その都度スタッ プや相談員、保護者様と話し合いをし、見 直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	1	3			ガイドラインをスタッフ全員 に周知し、更に遊びの拡大 とコミュニケーション力の向 上を目指していく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4			児発管と共に、スタ ッフも可能な時には参加するように している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	3	1		保護者様からいた だいた情報や学校 がホームページに 記載する年間計画 を確認し、対応、調 整を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	2		現在、看護師の勤務がない ため、医療的ケアを必要と する利用者様の受け入れを していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている		4		園の職員と直接話す ことはしていないが、 相談員から就学前の 利用者様・保護者様 の様子、状況等の情 報を聞いて、社内で 共有し理解に努めて いる。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している			4	情報を当事業所から 書面などで提供 したことはないが、 事業所内の様子な どはできる限り詳 しく相談員に伝え ている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		1	3	必要に応じて、情 報を共有してい る。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある			4	現在は行っていない。	
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している	1		3	研修に参加してい る。	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	4			利用者様の様子を 保護者様に伝え、 保護者様からの情 報にも耳を傾け、 共有している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	1	保護者様より相談があった際には、利用者様の対応について、ご提案等をさせていただくことがある。	
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明を行い、疑問があればいつでもお答えしている。	
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者様からの相談等があった場合には、スタッフ全員で共有し、話し合い、対応をしている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4		現時点では、保護者会等を開催する予定はありませんが、ニーズにそって検討していきたいと思う。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			保護者様のご意見に対し、直ぐに社内です話し合い検討している。苦情・相談窓口については重要事項説明書に詳しく記載してあるので、契約の時に説明させていただいている。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			不定期ではあるが、フレンズ便りや、外出イベントの時にはその都度、活動概要をお知らせしている。	
	㉖	個人情報に十分注意している	4			個人情報の扱いには、細心の注意を払っている。	今後も細心の注意を払い、複数人で確認していく。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			利用者様や保護者様、個々に合わせた説明や対話を心がけている。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	地域住民を招待するような活動等は、今現在企画していない。	現時点で、交流の予定はありませんが、ニーズがあれば計画できたらと思う。
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			事業所内にマニュアルを掲示し、スタッフ内で周知している。保護者様には契約時の説明やSNSで確認できるようにしている。	感染症対応マニュアルについては後日、事業所内やSNSにて貼り出す予定。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			年に2回、利用者様と共に、避難訓練を実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止の研修に参加している。参加できなかったスタッフには後日映像を見たり、資料を閲覧できるように保存している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		身体拘束が必要な場合については、保護者様のご了承のもと、支援計画を作成し、支援を行っていく。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		医師の診断情報を保護者様を通じて確認している。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			スタッフ内で考えられる事例と対策を話し合っている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 10日

事業所名 フレンズ常総大沢 保護者等数(児童数) 28 回収数 26 割合 93%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	24	2		外出する機会もあり助かります。	ご見学の希望がありましたら、お問い合わせください。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	21	5			手厚い支援ができるように、スタッフの調整をしております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	18	7		・最近見学していないので、よくわかりません。 ・室内の様子を見ていないため不明。	支援スペースには2段の階段があり、両側には手すりが設置してあります。のぼり降りが難しい場合にはスロープで対応出来るようになっております。ご見学いただけますので、お問い合わせください。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	25	1			利用者様、保護者様のニーズを考慮し、社内で日々の様子を話し合い計画を作成させていただいております。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	24	2			毎月、スタッフみんなで案を出し合い、固定化しないように考え決めております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	14	3	フレンズ以外のお子さまとの交流が増えれば嬉しいです。	皆様のニーズにそって検討していきたいと思っております。機会があれば、昨年と同様、他店舗との企画を考えていきます。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26				見学、契約時に説明させていただいておりますが、疑問に思われた際には、お問い合わせください。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	26				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	22	3	1	面談できるタイミングがあると嬉しいです。	ご相談いつでも受け付けております。面談のご希望がありましたらお問い合わせください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	14	9	学校、地域などが違うのもあり保護者の交流するタイミングがあるのか不明です。	現在保護者会等の開催の予定はありませんが、皆様のニーズにそって検討していきたいと思っております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	23	3		苦情があるのか不明です。適切に対応していると思います。	保護者様のご意見に対しまして、直ぐに社内で話し合い検討させていただいております。苦情・相談窓口については重要事項説明書に詳しく記載しておりますので、ご確認ください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	25	1			帰りの送迎時や連絡帳、電話等でお伝えさせていただいております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	26			アプリやラインなどで、日々の様子や写真を見られたら嬉しいです。	ホームページで自己評価の結果をご覧いただけます。フレンズ便りやSNS等で引き続きお知らせさせていただきます。
	⑭	個人情報に十分注意している	25		1	お友達の連絡帳が入っている時がありました。	今後も十分注意いたします。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	21	5			フレンズのSNSでご覧いただけるようになっております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	20	6			利用者様と共に、年2回、避難訓練を実施しております。利用曜日が少ない利用者様にも参加いただけるよう、曜日をずらして行っています。また、フレンズ通信等で様子をお知らせさせていただいております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	24			・とても楽しみにしていて「あしたフレンズある？」と聞かれ「あるよー」と、答えるとニコッとします。 ・すごく楽しみにしています。	これからも利用者様に「楽しい」と思ってもらえるようなイベント、活動、フレンズでの過ごし方を精一杯考えていきたいと思っております。
	⑱	事業所の支援に満足している	24			・いつも本当にありがとうございます。 子どもが楽しく通えていることで、安心して通わせることができています。 ・デイサービス中であつた出来事(問題のあつた出来事)は道路ではなく、敷地内で、伝えて頂きたいです。近所の方や散歩中の方に聞かれないか心配です。 ・親でも気づけない支援をしていただき、いつもありがとうございます。	これからも保護者様に信頼していただけるよう、スタッフみんなで話し合い、考え、利用者様の為に支援をさせていただきます。 更なる支援に繋がるよう、何か気になることがありましたらいつでも遠慮なくご連絡ください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7年 3月10日

事業所名 フレンズ常総大沢

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である				環境・体制は整えている。 (契約者がいない為、正確な所は分からない。)
	②	職員の配置数は適切である				放デイと同じ
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている				放デイと同じ
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている				放デイの①と同じ
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している				契約者がいない為、実施したことがない。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				同上
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				同上
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				同上
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している				同上
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している				契約者がいない為、児童発達支援計画を作成したことがない。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している				契約者がいない為、アセスメントツールを使用したことがない。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている				契約者がいない為、実施したことがない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている				同上	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている				同上	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している				同上	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している				同上	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している				同上	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している				同上	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている				同上	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している				同上	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している				契約者がいない為、実施したことがない。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている				同上
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				同上	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				同上	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				同上	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				同上	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				同上	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				同上	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				契約者がいない為、実施したことがない。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				同上
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている				同上
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている				契約者がいない為、実施したことがない。
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている				同上
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				同上
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				同上
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				同上
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している				同上
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意している				放デイと同様に対応する。
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている				同上
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				契約者からの要望があれば、検討していく。
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				契約者がいない為、実施したことがない。
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している				同上

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				契約者がいない為、実施したことがない。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している				同上
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				放デイと同じ
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				放デイと同様、同じ計画したことがない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。